

2021年度 大学院経営管理教育部（専門職学位課程）

入学試験問題（一般選抜）

【会 計 学】

第1問

会社が一旦発行した自社の株式を取得して保有しているとき、この株式を自己株式という。自己株式について、以下の設問全てに答えなさい。

- （1）自己株式の本質については、資産説と資本減少説（資本控除説）という対立する見解がある。①自己株式を資産と考える根拠と、②自己株式を資本から控除すべきものとする根拠をそれぞれ示しなさい。
- （2）これまで、日本では、自己株式の取得が商法の精神に基づいて2001年まで禁止されていた。その理由を説明しなさい。
- （3）既存株主に対する経済効果を期待して自己株式の取得がなされる場合がある。その経済効果を説明しなさい。
- （4）取得した自己株式の使い方について、（3）以外の使い方について説明しなさい。
- （5）日本の会計制度を前提として、自己株式取得のデメリットについて以下の視点から説明しなさい。
①自己資本比率、②設備投資・研究開発投資、③取得した自己株式の処分

2021年度 大学院経営管理教育部（専門職学位課程）

入学試験問題（一般選抜）

【会 計 学】

第2問

予算管理について、以下の設問全てに答えなさい。

- （1） 予算管理プロセスについて下記の用語を全て用いて説明しなさい。

短期利益計画 差異分析 予算統制 修正行動

- （2） 予算の目的について下記の用語を全て用いて説明しなさい。

公式化 調整 利益計画 動機付け 責任

- （3） 予算編成のアプローチにはどのようなものがあるか、主要なアプローチを3つ述べたうえで、それぞれのアプローチのメリットとデメリットを簡潔に説明しなさい。

- （4） 予算スラックとは何か説明したうえで、予算スラックの是非について論じなさい。